

キャラクター名  
県 櫻子(あがた さくらこ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ハヌマーン	ワークス	サイドキック	カヴァー	ヒーロー候補生
オプション	オルクス	年齢	17	性別	女
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	33 %
出自	権力者の血統	経験	エリート	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	48
肉体	3		0			3	行動値	6
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	2		0			2	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術: 料理	1		知識:			情報: ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
神渡し "ヴァン・セゾニエ"	RC	2r+1		(3体)		雷+雷光+華+要 シン中Xジャガイ+4個,戦移+5m/次のC値-1,達+12 13
100%		0				// シン中Xジャガイ+5個,戦移+5m/次のC値-1,達+16
春疾風 "プリズ・プラタニエール"	RC	2r+1		(単体)		雷+華 次のC値-1,達+12 8
100%		0				// 次のC値-1,達+16

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
クリスタルシールド	(15)	12	-	-	《ウェポンマウント》で取得 R2P185
夜来学園極制服	(30)	9	-	-1	【社会】判定達+4 HP-2 CEP83

所持品	
ヒーローズクロス	
カテゴリ:ルーキー	
コネ:ヒーローマニア	
情報収集チーム	
思い出の一品	
デモンズシード	

合計装甲: 21 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
特権階級 "ハイロード"	P	N		
月海 逢人	P 執着	N 偏愛		
字白 蘭花	P 感服	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ウェポンマウント 4	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	常+[LV*5+5]のアイテムを取得 仁装備 EAP38							
ペインエディター 4	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	最大HP+[LV*5] EAP40							
解放の雷 2	2	4	Xジャ	視界	単体	自動	-	
効果:	次のC値-1(下6),達+[LV*2] EAP38							
強化の雷光 4	4	2	Xジャ	視界	単体	自動	-	
効果:	シン中Xジャ判定ガイ+LV個,戦移+5m EAP38							
要の陣形 2	2	3	Xジャ	-	3体	-	-	
効果:	対象変更 EAP97							
導きの華 4	4	4	Xジャ	視界	単体	自動	-	
効果:	次の達+[LV*2] EAP100							
マグネットフォース 1	1	2	オート	至近	単体	自動	-	
効果:	加"リゾ"を行う EAP40							
援護の風 4	4	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定ガイ+LV個 EAP74							
ウィンドブレス 3	3	3	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果:	達+[LV*3] EAP78							
妖精の手 2	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	出目ひとつを10に変更 EAP100							
彼方からの声 9	1	1	Xジャ	視界	効果	自動	-	
効果:	雑踏の中で秘密裏に会話したりLVkm先に声を届けられる EAP79							
蝙蝠の耳 1	1	-	Xジャ	至近	自身	自動	-	
効果:	あらゆる音を聞く EAP79							
真偽感知 1	1	2	Xジャ	視界	単体	自動	-	
効果:	嘘を吐いているか見抜く EAP79							

夜来学園に通うヒーロー候補生。在学中の身だが、現役ヒーローである月海逢人のサイドキックとして正式に活動している珍しい生徒である。頭脳明晰品行方正、文字通りの優等生で、他の生徒からも一目置かれている。しかし本人は実力を鼻にかけることなく、周りの生徒達と気兼ねなく接しており、持ち前の人柄の良さで相まって広く良好な交友関係を築いている。

夜来学園園長である県初恵の娘。立場上一部の人間からやっかみを買うこともしばしば。悪口やありもしない噂を立てられることもあり、それについては悲しく思っている。しかし言葉で説明したところで納得されないことも承知しているため、自らが努力してその名に恥じぬ実力を身につけることが大事だと前向きに捉えており、日々訓練を怠ることなく精進している。

10年前、街中でジャームに襲われかけていたところを偶然月海に助けられたことを機に彼と知り合った。助けられて開口一番「大きくなったらお兄さんと結婚する!」と一方的に宣言(?)し、以降彼に付き纏い続けている。ヒーローを目指したのもひとえに彼の横に立ち並びたかったが故である。年齢差も大きく、実力的にも月海には到底及ばないことは幼い頃から今に至るまでずっと自覚があり、それ故に"ライトニングスター"を筆頭にPC1の隣に立つことを許されている存在に対しての嫉妬を抱いていて、子供っぽい八つ当たりをすることも少なくなかった。最近になってやっと月海の周囲にいる人間を威嚇することは減ってきた。因みに結婚云々については夜来に進学してからめっきり口に出さなくなったが、学友からの告白を断っているところを他の生徒に発見されるなどしているため、現在本当はどう思っているのかを周囲が推測することは難しい。月海には軽くあしらわれ続けていたが、先日の"ライトニングスター"失踪事件後、彼女の更なる猛烈なゴリ押しにより遂にサイドキックの座に収まることに成功した。現状に不満はないどころか寧ろ非常に喜ばしく感じてはいるが、一方で"ライトニングスター"に向けられていたような信頼感を得られていないことにも気付いているため、今の関係性を少し不安に思っている。

